

千葉国道事務所でのインフラDXの取組み

Ri2mapsの活用による資料の自動データベース登録

- 業務上取り扱う資料やデータは、デジタル化し事業実施への活用が求められているが、データベースへの登録、更新に手間がかかるため、なかなか定着しない。
- このため、日常のプロセスにおいて、作業を効率化させつつ自動的にデータベースに登録されるシステム（**Ri2maps**）を活用することで、職員への負担をかけることなくデータベースの構築を実現していく。

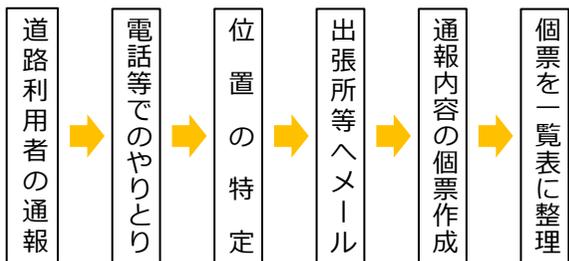
【行政相談の受付】

受付連絡票の様式に位置座標を付与し、メール生成と一覧表作成等を自動化

【協議録の作成・回覧】

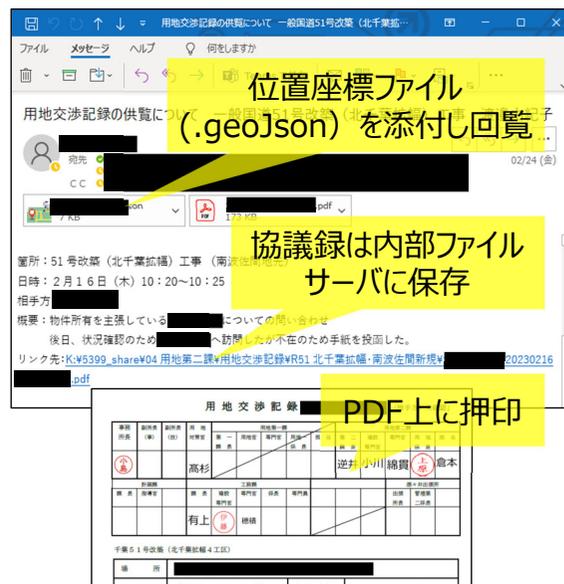
紙に押印していた回覧を電子化し、メール共有の際に位置座標を付与

(導入前) 合計約30分/件



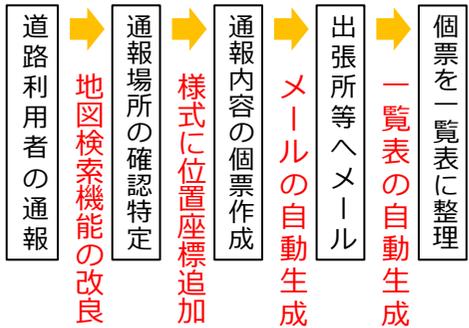
職員のメリット
 一件当たり**20分**削減
 ×
 年間**500件**
約170時間/年削減

(メールで回覧)



職員のメリット
在宅勤務時も
 回覧・押印が可能
 閲覧時に、該当箇所を
地図上で確認可能

(導入後) 合計約10分/件



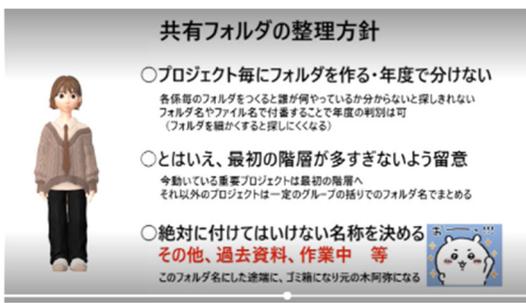
苦情受付の連絡
 ||
DB自動登録

議事録の所内回覧
 ||
DB自動登録

活用事例



内部広報動画で意識啓発



※共有フォルダ整理にむけ、電子化推進チームを結成